

高砂市人権教育及び啓発に関する基本計画（素案）の
パブリックコメント実施結果について

1 意見募集期間

令和7年12月10日（水）から令和8年1月9日（金）まで

2 意見募集結果

意見提出者数 4名 意見数 5件

3 意見の概要と市の考え方

提出された意見の概要とそれらに対する市の考え方は次のとおりです。

No	頁	意見の概要	市の考え方
1	8	人権侵害を受けた経験のある人が全体の2割もいる中、その7割もの人が解消されていないと回答していることを知り、辛い思いをされていると心配する。	「高砂市人権に関する市民意識調査」結果において、回答者の約5割が人権問題の解決のために市が力を入れていくべきこととして「人権問題に関する相談窓口の拡充・相談体制を充実」と答えている状況から、市としての役割を果たすため、相談体制の更なる強化と充実に努めます。
2	17	コロナを機に学習会の減少もあったのでは。校区毎の講演会ではなく、地域交流センターを活用するなど、以前のような小地域での校区懇談会で参加者が増えるといいと思う。	地域における人権学習のあり方については、市民が人権を特別なことではなく、日々の暮らしの中にある身近な問題として捉える機会として大変重要であると考えています。 市としては、地域と連携し、多様な人権問題の解消に向けた持続可能な人権教育及び啓発に取り組んでいきます。
3	42	高齢者に対しての介護施設の身体的心理的虐待などが近年増加していると思う。特に身体拘束は事故を防ぐために行われるが、弊害も多く見られる。拘束ゼロになる介護をめざすべき。	社会における高齢化が進む中、高齢者虐待は高齢者の尊厳を傷つけ基本的人権を侵害する深刻な社会問題であると認識しています。 その要因の一つとして認知症高齢者の増加が挙げられ、本市においても庁内外の関係機関が連携し認知症施策の充実に図り、社会全体で高齢者を

			支える地域づくりに努めます。
4	全体	<p>様々な問題について今後の方向性や取組として明記されているが、誰が（何処が）取り組むのか明記されていない。行政の押し付けにならないために、市民自ら学び、気づき、取り組むべき。</p> <p>そこを担うのが、「高砂市人権教育協議会」の存在だと思う。この協議会の中で、地域（校区人権部会）、職場（企業部会）などが人権啓発の活動をどう進めるか、行政との意見交換が必要である。</p>	<p>高砂市人権教育協議会は、専門部会活動を通じて、地域における人権学習会の活性化や、学校・園における人権教育の充実等の重点目標に基づいた取組を推進しています。</p> <p>引き続き、高砂市人権教育協議会と連携を密にし、様々な分野における人権教育及び啓発活動を推進し、市民の人権意識の醸成と「個人が尊重し合い、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるまち」の実現をめざしていきます。</p>
5	全体	<p>市民が当事者の声を直接聴く機会となる人権講演会への呼びかけについて工夫すべき。また、取組の効果も発信してほしい。</p>	<p>当事者の方を講師とした人権講演会は、参加者が人権への関心や理解を深める上で効果的であると考えます。開催にあたり、参加の呼びかけや取組の効果については内容や媒体を工夫し、一人でも多くの人に人権に関する制度や事業等について知ってもらえるような情報発信に努めます。</p>